

令和 7 年度

2級実験動物技術者認定試験

各 論
(モルモット)

試験時間 : 13 時 00 分～15 時 00 分

解答は答案用紙の該当欄の○を1つ鉛筆で黒く塗りつぶしてください。
○をはみ出したり塗りつぶし方が不十分にならないよう注意してください。

令和 7 年 8 月 3 日

(公社)日本実験動物協会

各論：モルモット

それぞれの設問について、該当するものを1つ選び、解答用紙の該当欄の○を鉛筆で黒く塗りつぶしてください。

26. モルモットの特徴として正しいのはどれか。
- 1) エボラ出血熱ウイルスなどの感染モデルとして用いられる。
 - 2) 結核菌に対する感受性が低い。
 - 3) アナフィラキシーや各種アレルギー反応に対する感受性が低い。
 - 4) ストレスの影響を受けにくい。
27. モルモットが実験動物として最初に用いられたといわれているのはいつか。
- 1) 1780 年
 - 2) 1830 年
 - 3) 1870 年
 - 4) 1940 年
28. モルモットの解剖学的特徴として正しいのはどれか。
- 1) 成熟個体の体重は 1kg を超えることはない。
 - 2) 頭部が大きく、尾がない。
 - 3) 前肢 5 指、後肢 4 趾を有する。
 - 4) 中耳腔に蝸牛が飛び出していない。
29. モルモットで平滑筋研究に汎用される 3 本の紐 (tenia) とよばれるのはどこにあるか。
- 1) 回腸
 - 2) 盲腸
 - 3) 結腸
 - 4) 直腸
30. 実験動物として多く使用されているモルモットの品種はどれか。
- 1) アビシニアン種
 - 2) イングリッシュ種
 - 3) ペルビアン種
 - 4) ポーリッシュ種

31. モルモットの疾患モデル動物の説明で正しいのはどれか。
- 1) 遺伝子改変技術により、結核菌抵抗性を持つ Strain 13 が作製された。
 - 2) ヘアレスモルモットは胸腺がない免疫不全動物である。
 - 3) 補体第 3 成分や第 4 成分を欠損する系統がある。
 - 4) Waltzing guinea pig は遺伝性視覚障害を持つ有色動物である。
32. 体重が 350 g を超えるモルモットの 1 匹あたりのケージの床面積はどのくらい必要か。
- 1) 258.0 cm² 以上
 - 2) 387.0 cm² 以上
 - 3) 451.5 cm² 以上
 - 4) 651.5 cm² 以上
33. モルモット用ケージの説明で正しいのはどれか。
- 1) 床面から天井までの高さは 27cm 以上必要である。
 - 2) 金網床の網目の間隔は、足が落ちないように 5mm 以下にしたほうがよい。
 - 3) 金網床の四隅は、足を挟んで骨折する危険性があるため、塞いでおいたほうがよい。
 - 4) 繁殖用ケージは、一般に飼育用ケージより大きい床敷入りケージを使用し、巣箱は必要としない。
34. 成熟モルモットの 1 匹、1 日あたりの給餌量はどのくらいか。
- 1) 20～30 g
 - 2) 40～50 g
 - 3) 60～70 g
 - 4) 80～90 g
35. 成熟モルモットの 1 匹、1 日あたりの摂水量はどのくらいか。
- 1) 20～30 mL
 - 2) 40～50 mL
 - 3) 60～70 mL
 - 4) 80～120 mL
36. モルモットで自動給水装置を用いる場合の注意点として正しいのはどれか。
- 1) 口腔内の食物残渣が給水管に逆流して水が汚れることからできるだけ水压を高くする。
 - 2) 新たに導入した動物で、水を飲んでいない場合は給水口に口をつけさせ、位置を覚えさせる。
 - 3) 配管内のフラッシングは 1 週間に 1 回程度がよい。
 - 4) 水压が低すぎると誤嚥を起こすことがある。

37. モルモットの取り扱い方法として正しいのはどれか。
- 1) ケージから取り出す際には頸背部皮膚を持ち上げる。
 - 2) 体重が1kg程度までの動物であれば、片手で容易につかむことができる。
 - 3) 妊娠動物は両手を使って体重を支えるなどの配慮が必要である。
 - 4) 各種投与時には必ず専用の保定器を用いる必要がある。
38. モルモットの個体識別に関する説明で正しいのはどれか。
- 1) 新生子は色素塗布法による識別はできない。
 - 2) ラット用の耳パンチ器が使用できる。
 - 3) 耳パンチ法で行う場合には麻酔をかけなくてよい。
 - 4) 耳介が薄いため耳標法による識別はできない。
39. モルモットの幼若子で軟便、下痢便の症状が観察される原虫性疾患はどれか。
- 1) サルモネラ症
 - 2) ブルセラ症
 - 3) マイコプラズマ症
 - 4) コクシジウム症
40. モルモットの呼吸器系感染症で、とくに感受性が高いのはどれか。
- 1) 気管支敗血症菌症
 - 2) センダイウイルス感染症
 - 3) ティザー病
 - 4) サルモネラ症
41. モルモットの溶血性連鎖球菌症の主な症状はどれか。
- 1) 脱毛、潰瘍
 - 2) 頸部リンパ節の腫脹、膿性鼻汁
 - 3) 軟便、下痢便
 - 4) 歩行失調、旋回運動
42. 雌モルモットの繁殖開始時期として正しいのはどれか。
- 1) 0.5～1 か月齢
 - 2) 1.5～2 か月齢
 - 3) 2.5～3 か月齢
 - 4) 3.5～4 か月齢
43. モルモットの発情から交尾に関する説明で正しいのはどれか。
- 1) 膣開口期には発情を示さない。
 - 2) 発情期に他の動物種のようなロードーシス反応を示さない。
 - 3) 雌が雄を受け入れる時間は、発情開始後2～5時間である。
 - 4) 膣栓は脱落しにくいので、確実な交尾の判定に利用される。

44. モルモットの平均妊娠期間はどれか。

- 1) 48 日
- 2) 58 日
- 3) 68 日
- 4) 78 日

45. モルモットの離乳は生後どのくらいで行うか。

- 1) 2 週間
- 2) 4 週間
- 3) 6 週間
- 4) 8 週間

46. 右図はモルモットの性別を確認している写真であるが、何れのものか。

- 1) 新生子の雌
- 2) 成熟動物の雌
- 3) 新生子の雄
- 4) 成熟動物の雄



47. 右図のうち、モルモット用飼料はどれか。

- 1) A
- 2) B
- 3) C
- 4) D



A

B

C

D

48. モルモットで右図のような保定方法が必要な実験手技はどれか。

- 1) 皮下投与
- 2) 静脈内投与
- 3) 経口投与
- 4) 腹腔内投与



49. モルモットの筋肉内投与部位として最も適切な部位はどこか。

- 1) 後頸部
- 2) 上腕部
- 3) 大腿部内側
- 4) 下腿部

50. 右図はモルモットの頸部皮下の写真であるが、矢印で示している臓器は何か。

- 1) 甲状腺
- 2) 舌下腺
- 3) 耳下腺
- 4) 胸腺

